

教育指導担当

## 情報モラルアンケートの実施結果について

各区立小・中学校に在籍する児童・生徒及び保護者のインターネットの活用に関する実態を把握することを目的として、情報モラルアンケートを実施しました。

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

学習用タブレット端末の活用が進んだことに伴い、情報モラル教育の重要性が高まっていることから、区立小・中学校に在籍する児童・生徒及び保護者のインターネットの活用に関する実態に応じた情報モラル教育を実施するため。

#### (2) 調査対象 区立小・中学校に在籍している全児童・生徒とその保護者

#### (3) 調査方法 インターネットによる回収

#### (4) 調査期間 令和4年6月29日（水）から7月11日（月）まで

#### (5) 回収数及び回収率

	対象者数	回収数	回収率 (回収数/対象者数)
小学1～3年	5,434人	3,440人	63.3%
小学4～6年	4,911人	4,042人	82.3%
中学1～3年	2,199人	1,877人	85.4%
保護者	12,544人	5,327人	42.5%

### 2 調査結果

別紙「情報モラルアンケートの結果」のとおり

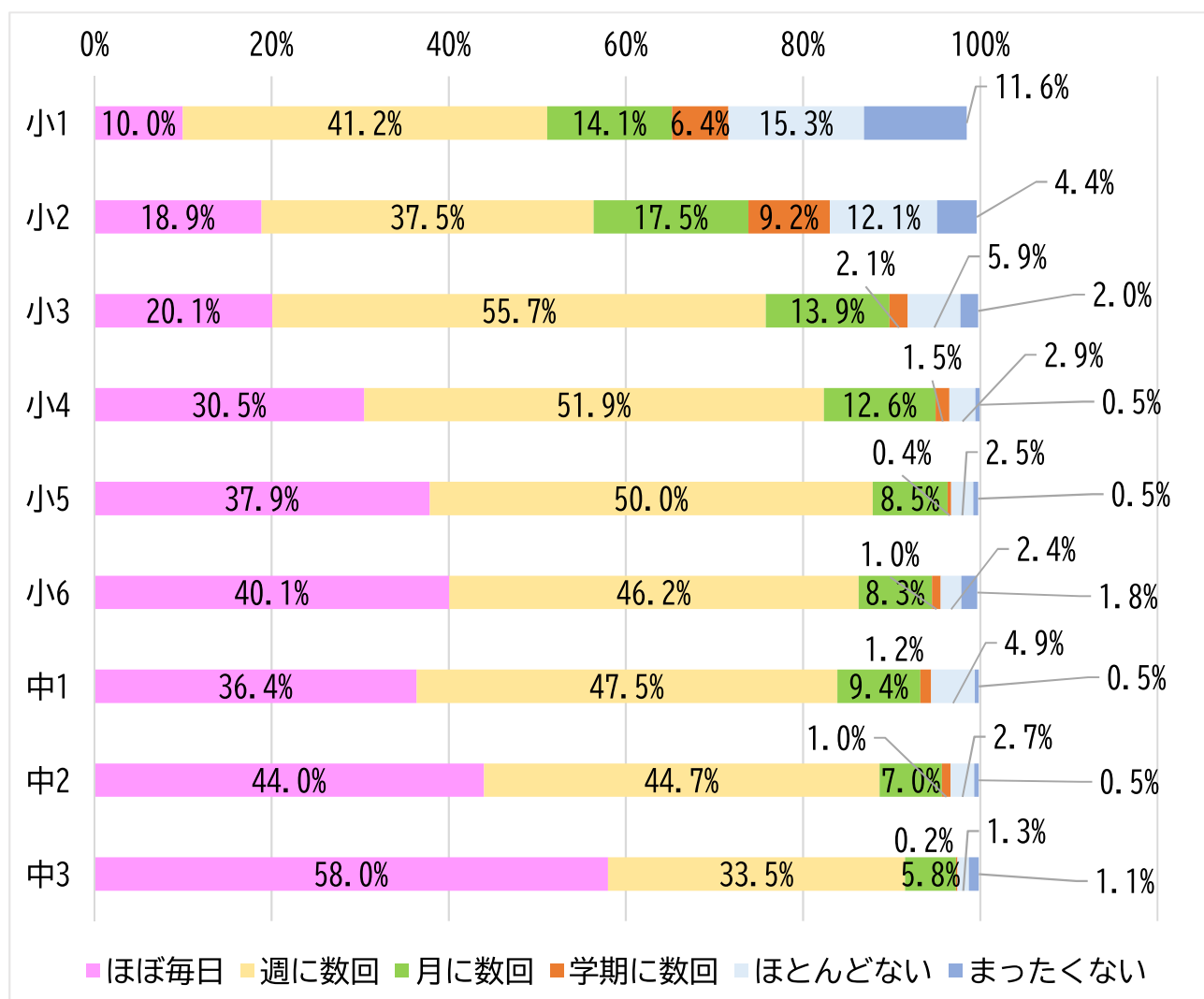
### 3 調査の活用

本調査結果を踏まえ、各区立小・中学校で保護者も含めた情報モラル教育に関する講演会等を実施しています。また、今後は実態を踏まえた保護者向け啓発資料の作成等の情報モラル支援をしていきます。

## 情報モラルアンケートの結果

## (1)GIGA スクール構想で配備した端末の使用頻度

【設問】学校の授業の中でパソコンやタブレットをどのくらい使っていますか。

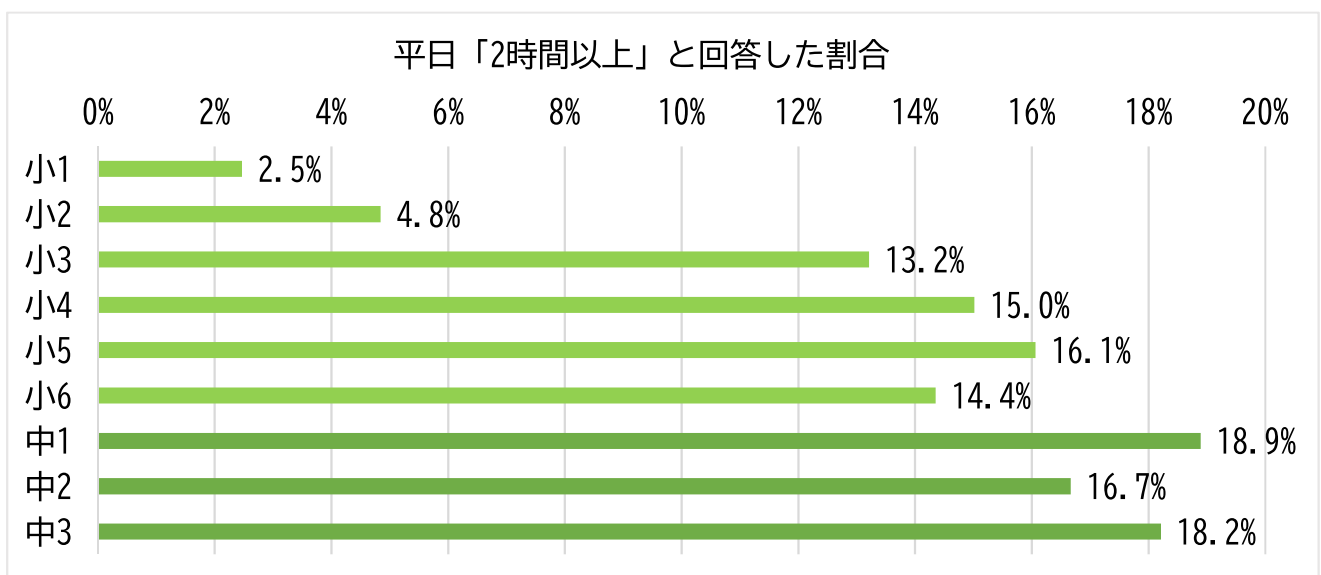
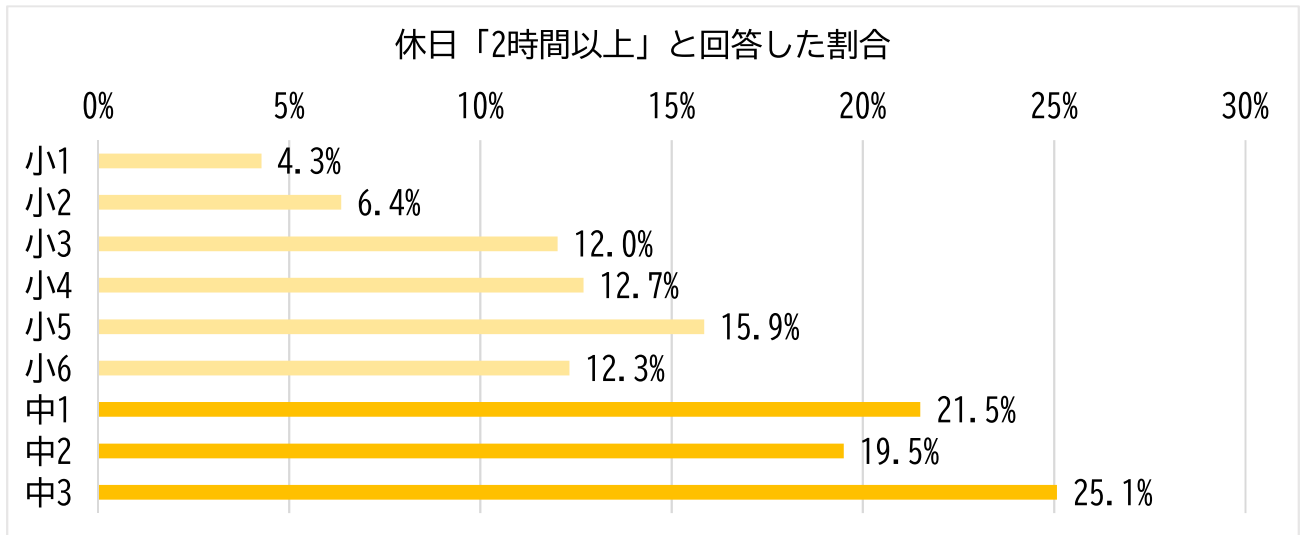


小学1年生から中学2年生までの児童・生徒は、「週に数回」と回答した割合が最も多いですが、中学3年生では「ほぼ毎日」と回答した割合が最も多く、58.0%の割合を占めています。小学校低学年ほど端末の使用頻度が低い傾向にあり、学年が上がるにつれて使用頻度が高くなっています。

一方で、「ほとんどない」「まったくない」と回答している児童・生徒もいることから、教員研修の実施等により端末の活用を促進していく必要があります。

## (2) 学習での端末の使用時間

【設問】家で自宅学習などのためにパソコン、タブレット等を使っている時間は、一日あたりどのくらいですか。

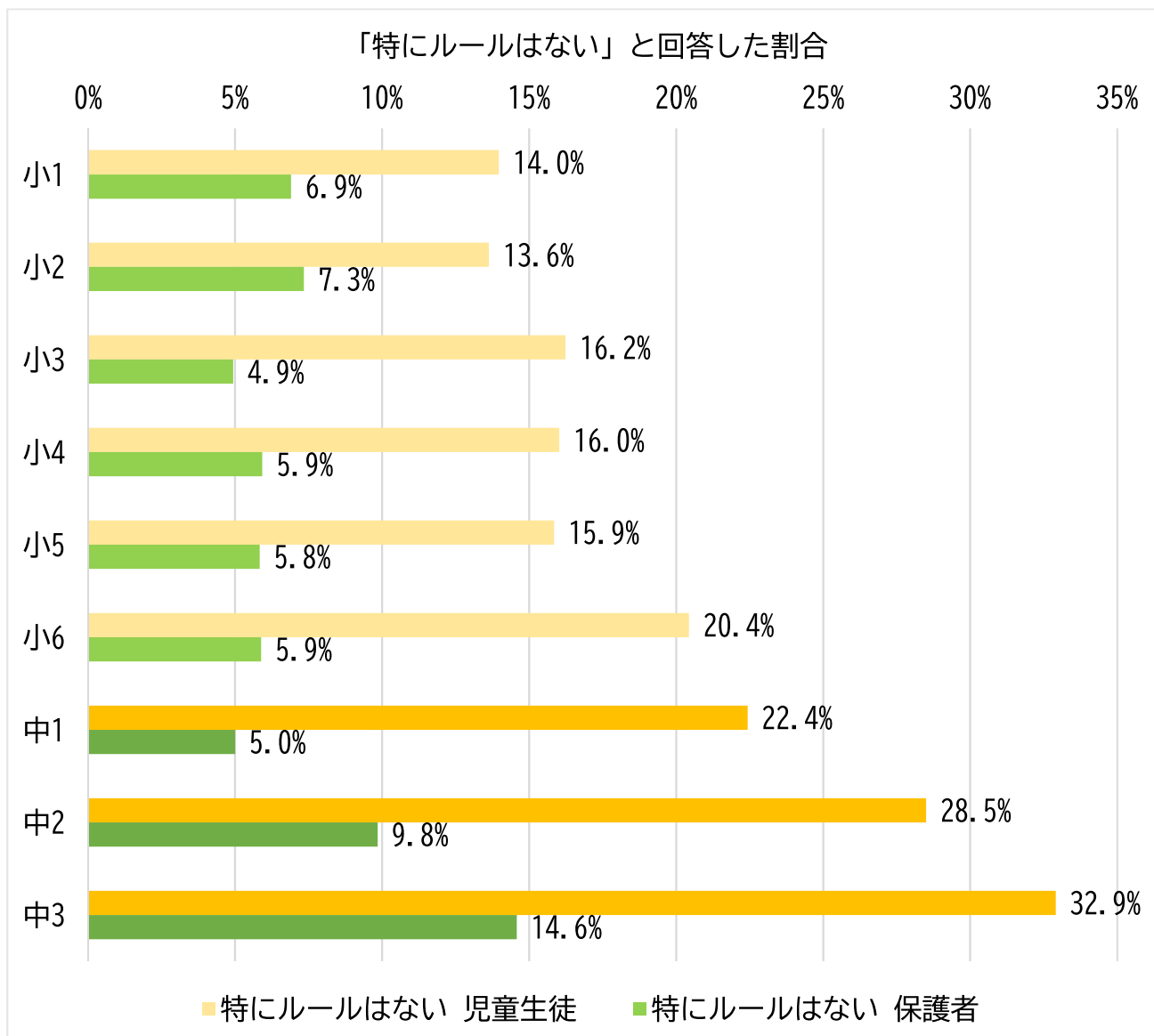


家庭での端末使用の時間は、中学3年生で休日「2時間以上」が25.1%の割合、平日「2時間以上」が18.2%の割合を占めるなど、全体的に中学生において、休日に長時間使用している生徒の割合が、平日より多い傾向にあります。

中学生ほど、私物の端末を保有していることが、これまでの調査からも把握できていることから、家庭での端末の長時間利用による健康被害防止について、保護者の意識啓発を引き続き図っていく必要があります。

### (3) 家庭でのルールの有無

【設問】あなたが普段使う、携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、タブレット端末を使う時のルールはありますか。

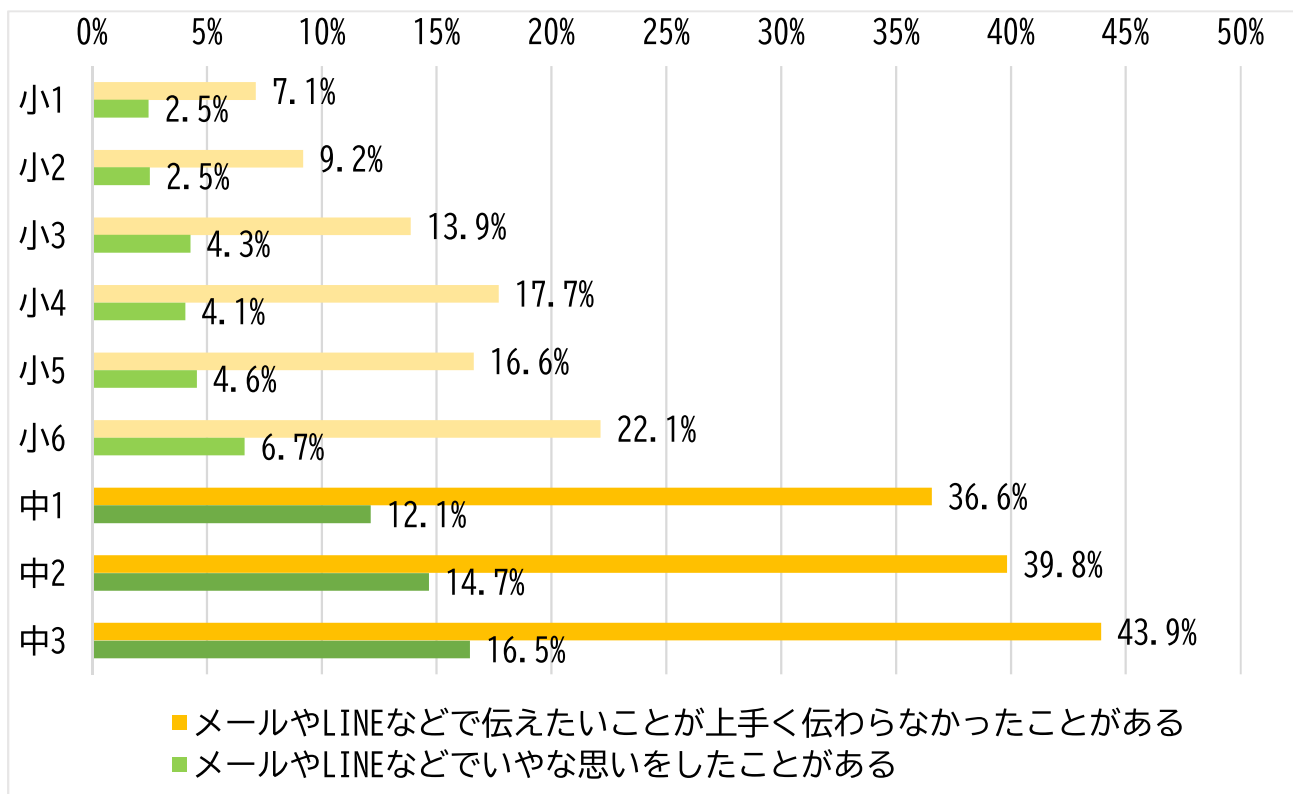


全ての学年において、「特にルールはない」と回答した児童・生徒と保護者の結果に乖離が生じています。学年が上がるにつれてこの傾向は高い傾向にあり、中学2年生では、「特にルールはない」と回答した生徒が28.5%、保護者が9.8%と18.7ptの差が生じています。

児童・生徒が自ら端末の正しい使用について考える機会を設けるなど、主体的に学校や家庭での端末活用のルールを守る意識を高める取組を強化していく必要があります。

#### (4)メールやLINE等使用時の経験

【設問】過去1年以内で、ゲーム、携帯電話、スマートフォンやパソコンなどを使っていて、伝えたいことがうまく伝わらなかった、若しくは嫌な思いをしたことがありますか。



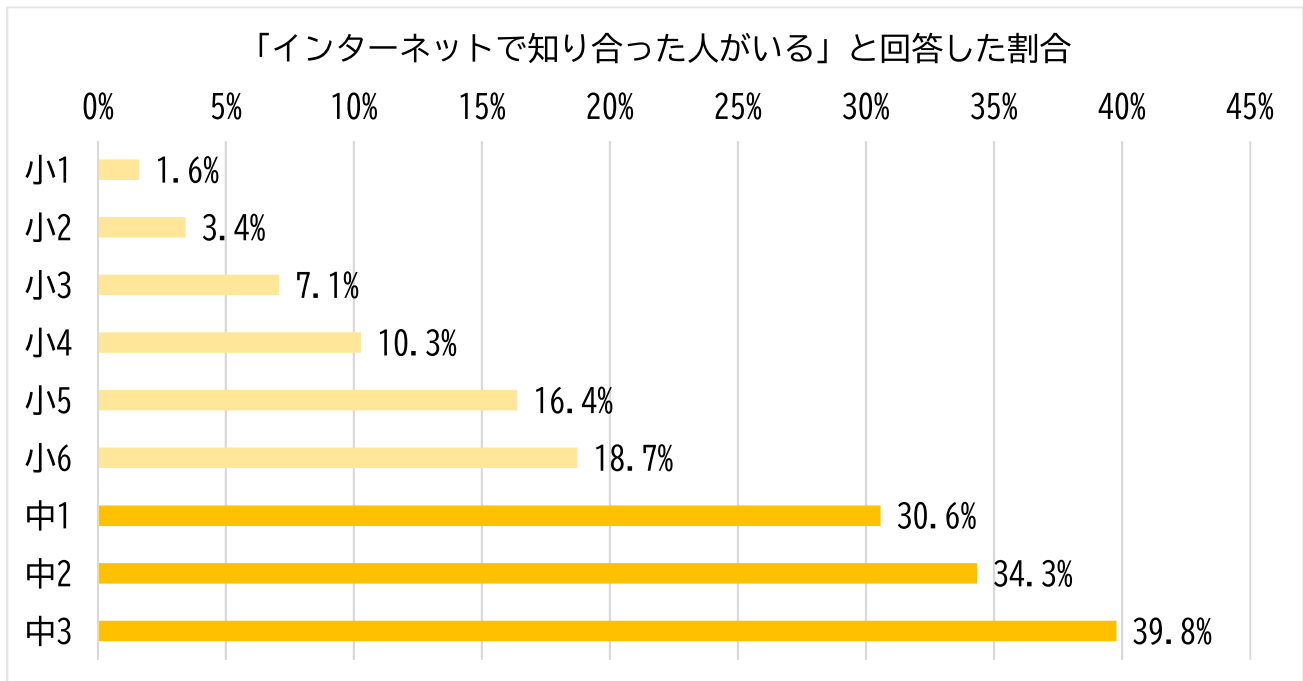
中学生では、「メールやLINEなどで伝えたいことが上手く伝わらなかったことがある」と回答した割合が多くなっています。最も多いのは、中学3年生で43.9%の生徒が「メールやLINEなどで伝えたいことが上手く伝わらなかったことがある」と回答しています。

また、「メールやLINEなどでいやな思いをしたことがある」と回答した割合は、中学生になると1割を超えています。

全ての学年において、メールやSNS等の連絡ツールを活用する際の注意点を学ぶ機会を設けることで、インターネットを介したいじめなどのトラブルが起きないようにする必要があります。

### (5)インターネット上での出会いの経験

【設問】過去1年以内で、ゲーム、携帯電話、スマートフォンやパソコンなどを使っていて次のようなことがありますか。



中学生では、「インターネットで知り合った人がいる」と回答した割合は、全ての学年で30%を超えています。

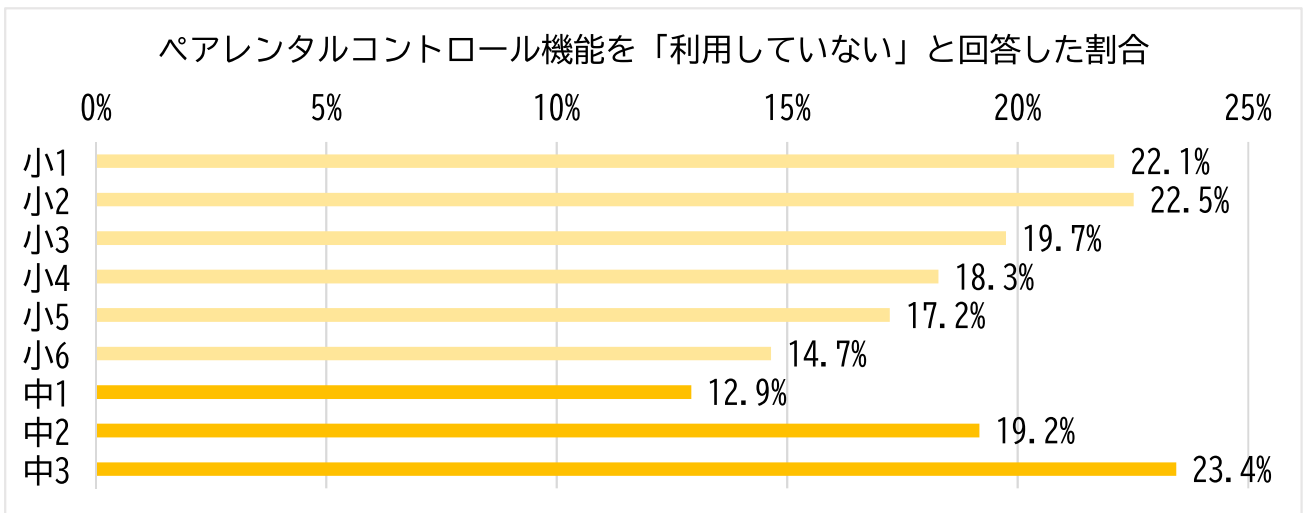
小学生においても、学年が上がるにつれて「インターネットで知り合った人がいる」と回答した児童の割合が多くなる傾向にあります。

児童・生徒がこうした回答をしている背景には、同じ学校や地域の子どもとインターネットゲームを介して遊んでいる際に、友達を介して新たな子どもと知り合いとなるケースが多いことが挙げられます。

今後、子どもたちが成長するにつれてインターネットゲームだけでなくSNS等を通じて知り合った人に会いに行くことで起きる危険な面も、学校の情報モラル教育などで指導していく必要があります。

## (6)ペアレンタルコントロール利用率【保護者対象】

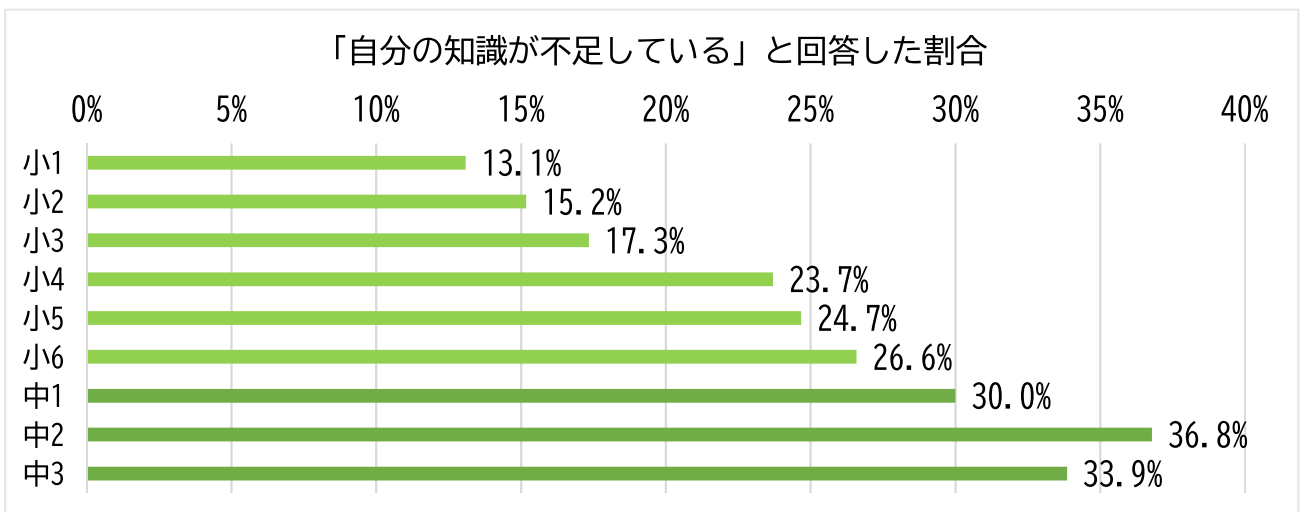
【設問】ご家庭で与えているゲーム機、スマートフォンやパソコンなどにペアレンタルコントロール機能(フィルタリングなどの保護者による管理・制限機能)を利用していますか。



ペアレンタルコントロール機能(フィルタリングなどの保護者による管理・制限機能)を「利用していない」と回答した保護者の割合は、スマートフォンを所有する小学6年生、中学1年生において最も減少する傾向にあります。家庭での端末活用について保護者が見守る意識を今後も向上させていく必要があります。

## (7)子どもがインターネットの利用をするに当たっての課題【保護者対象】

【設問】お子さんがインターネットの使い方を教えたり、注意したりする上で、「自分の知識が不足している」と感じることはありますか。



中学生の保護者ほど、子どもにインターネットの使い方を教えたり注意したりする上で、「自分の知識が不足している」と回答する割合が高くなっています。保護者対象に研修会などを開催する場合には、中学生の保護者には専門性の高い内容の研修を行うなど、対象学年に応じた研修内容を検討する必要があります。